

**【水質事故情報】逢瀬川の有機溶剤流出による
水質事故について(第3報)**

阿武隈川本川(二本松市木幡地内)でオイルフェンスを設置完了。
・蓬萊発電所(東北電力(株))では、取水口にオイルフェンスを設置しました。
・逢瀬川では、工場職員が100人体制で河岸漂着物を清掃中。
現在、阿武隈川での監視を強化しています。

1. 事故の概況

- ・発生場所: 阿武隈川左支川 逢瀬川
郡山市谷島町地内の工場
- ・発生時間: 平成24年8月26日(日) 12時39分頃
- ・流出物: 第2石油類(過酸化水素製造用の有機溶剤)
ジメチルエチルベンゼン、2-メチルシクロヘキシルアセテート、2-エチルアントラキノン
の混合物
- ・発生状況: 過酸化水素の製造過程で反応触媒として有機溶剤を循環させて使用しているが、混合タンクからの排水ポンプが何らかの原因で停止したものの、供給ポンプが稼働したままであったため、防液堤を超え雨水ラインから1.2m³程度漏出した。
- ・影響が懸念される河川: 逢瀬川(県管理)、阿武隈川(国管理)

2. これまでの対応について

- 26日(日)
- ・15:22 原因者が逢瀬川出口にオイルチューブ設置(①仲江堀)
 - ・16:20 福島県が逢瀬川出口にオイルフェンス設置(①仲江堀)
 - ・17:50 福島河川国道事務所が阿武隈川合流点付近でオイルフェンス、油吸着マット設置(②横塚橋直下流)
 - ・20:45 緊急巡視班を出動させ、阿武隈川本川の状況を確認
- ※各自治体及び下流で取水する利水者には連絡済。
- 27日(月)
- ・郡山市内の流出元では、新たな漏出は見られません。
 - ・9:45 逢瀬川のオイルフェンスに流着した浮遊物質の回収を終了
 - ※9:45までに、吸着マット・凝固体をビニール袋で143袋分を回収済
 - ・阿武隈川本川でオイルフェンスを設置済(③二本松市木幡)

3. 現在の状況について

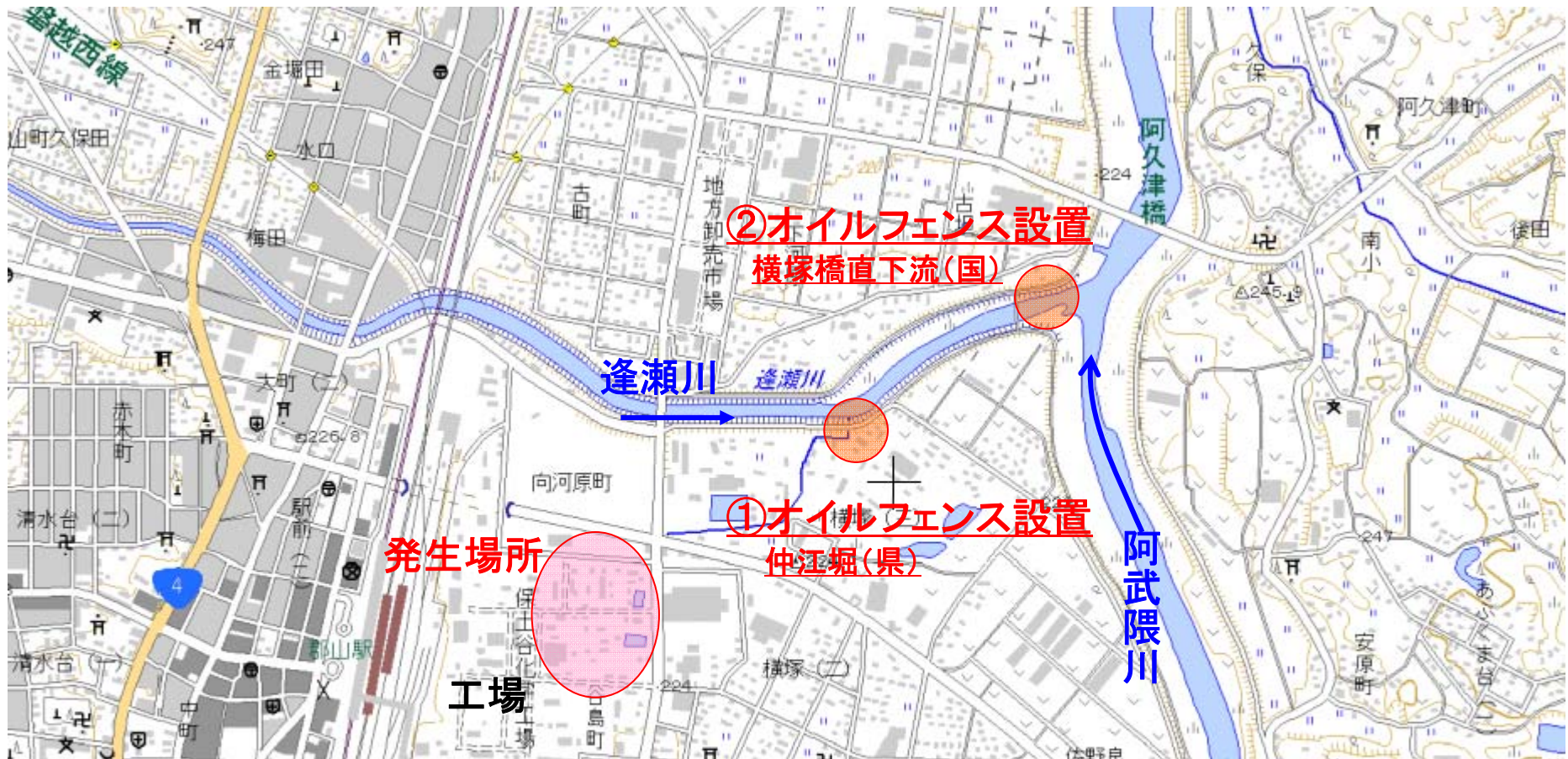
- ・河川巡視班が主要な橋で、浮遊物質(泡体)の監視の強化を継続。
 - ・阿武隈川本川では、新舟橋(二本松市木幡地内)の1km上流まで、水面を漂う浮遊物質(泡体)が確認されています。
 - ・27日10時から蓬萊発電所(東北電力(株))が、取水口にオイルフェンスを設置しています。
 - ・現在、逢瀬川において、工場職員が100人体制で河岸漂着物を清掃中。
- ※現在、河川での異常は確認されていませんが、魚の死骸等を発見された場合は、下記に連絡をお願いいたします。

<<発表記者会:福島県政記者クラブ、福島市政記者会>>

問い合わせ先

阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会上流支局
国土交通省 福島河川国道事務所 河川管理課
TEL 024-546-4331(代表)
副所長(河川) 畠山 浩晃(内204)
河川管理課長 宍戸 善博(内331)

位置図



位置図

蓬莱発電所(東北電力株)

取水停止及び取水口にオイルフェンスを設置



③オイルフェンス設置
二本松市木幡地内(国)